

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	1	支え合い 健康でいきいきと暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	人を大切にする社会の創造		
	施策	2	男女共同参画社会	地域環境部	田中 明子

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題



- 男女の固定的性別役割分担意識は緩やかに改善しつつありますが、長い歴史の中で培われてきた社会制度や慣行が、日常生活の中で気づかれることなく存在しています。
- 社会における活動や生き方が多様化するなかで、男女がお互いにその人権を尊重しつつ責任をわかちあい、個性と能力を発揮できるように、男女共同参画の視点に立って、社会制度や慣行を見直し、改めていく必要があります。

2. 施策の基本方針



- 「名張市男女共同参画都市宣言」や「名張市男女共同参画推進条例」の理念を踏まえ、市民、地域、事業者、市民活動団体等と行政が協働して、男女共同参画社会の実現を目指します。
- 「男女共同参画基本計画」に基づき、あらゆる分野における男女共同参画の推進を図ります。

○施策指標(目標)及び達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
男女の固定的な役割分担に同感しないという市民の割合(%)	目標	-	-	-	80.0	89.7%
	成果	76.1	77.9	78.4	79.6	
審議会等の女性委員の割合(%)	目標	-	-	-	32.0	36.5%
	成果	25.7	28.8	27.7	28.0	

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度~30年度)



- ・市担当部署に計画の進捗状況を確認し、審議会で評価を受け、市民に公表を行いました。
- ・事業実施にあたり、男女共同参画の視点を持って取り組むよう事業評価方法を工夫するとともに、職員研修では平成29年度はLGBT(21名参加)、平成30年度はパワハラ(42名参加)について実施し、理解を深めることができました。
- ・イクボス宣言式を平成29年9月22日に開催し、65事業所の賛同を得ました。また、名張市議会、名張商工会議所(現在は連合三重伊賀地域協議会)から応援宣言を受けました。なお、宣言以後も賛同事業所の拡大に努め、現在は名張市役所を含め69事業所となっています。
- ・DV防止啓発研修会を平成29年11月24日にフレンドみえに講師を依頼し、開催しました。(12名参加)受講者より多数の質問があり、満足度の高い研修になりました。
- ・三重県が主催する「みえのイクボス伝道師養成講座」に職員を派遣し、県よりイクボス伝道師として1名を認定いただきました。
- ・イクボス賛同事業所に対してアンケート調査を実施すると共に、男女共同参画推進フォーラムにてアンケート調査結果について報告を行いました。

4. 成果を踏まえた課題や現状



- ・審議会において、職員研修の参加人数が少ないと指摘がありましたので、早くから関係者等に参加の呼びかけを行い、多くの参加者確保が必要です。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現及び女性の活躍の推進等を図るために、イクボス伝道師を中心に「まちじゅう元気 イクボス宣言 なびり」に賛同する事業所の拡大につながる取り組みが必要です。
- ・DVの防止に向けた意識啓発について、身近な気づきにつながるような研修会を実施し、早くから関係者等に参加の呼びかけが必要です。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)



- ・「第2次男女共同参画基本計画」に基づき、事業実施に際して、男女共同参画の視点に立って取り組むよう市担当部署に働きかけつつ、進行管理を行います。
- ・男女共同参画意識の確立のために意識啓発を推進するとともに、性別にかかわらず自分らしく暮らせるまちになるよう、性的マイノリティについての啓発に努めます。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現及び女性の活躍の推進等を図るために、イクボス宣言を行った事業所のアンケート結果をもとに研修会等の取組を行います。
- ・DVの防止に向け、関係機関との連携を図るとともに、さらに満足度の高い研修会を開催します。

6. 行政評価委員会による総合評価



引き続きワーク・ライフ・バランスの実現及び女性の活躍推進を図るとともに、市内部においても、指針に基づき審議会等の女性登用率向上を図ること。